

創刊号

発行 特定非営利活動法人 豊齡研ITサロン会津
 福島県会津若松市柳原町1-2-34
 (郵便番号965-0857)
 編集・印刷・長谷川友仁



昨年春六才を過ぎ、これからの人生をいかに楽しく有意義に送るか、それは自分のパソコン経験を皆さんに提供、パソコンを腕役にわいわいがやが楽しい仲間作りができた、高齢者がいつでも集えるサロンのような場所ができたこと、これからの「豊齡社会」について、渡辺紀十見氏に相談したのがこの会発足のきっかけ。

一〇〇〇年四月一日、渡辺紀十見氏と私が発起人となり、賛同者九名にて任意団体「豊齡社会研究会」を発足。その後、阿部益三NNTT会津若松支店長の好意により、インターネット研修室を提供いただき、毎月六回、一年間通算約七十二回、わいわいやパソコン教室を開催してきてきた。二〇〇一年八月八日、



その後、阿部益三NNTT会津若松支店長の好意により、インターネット研修室を提供いただき、毎月六回、一年間通算約七十二回、わいわいやパソコン教室を開催してきてきた。二〇〇一年八月八日、

代表理事 長谷川友仁



わいわいやパソコン教室 (NIT会津若松支店で)

今、旬の おすすめメニュー



「豊齡」 いい言葉 だなぁ

長谷川友仁さん？、以前福島民報の紙上で渡辺紀十見会津若松支社長さんの論説に登場された方じゃないだろうか。研究会？といったような会なのだろうか。それにしても入会資格が六〇歳以上なんて面白い。これが福島民報紙上で偶然見つけた豊齡社会研究会と私の出会いです。それが、今ではすっかりこの研究会で楽しませてもらっている次第です。

現役を退くと人間付き合いは急に狭まる。これはマイナス。しかしここに強力な助っ人が登場してたちどころにマイナスはプラスに変換。それがパソコン。私が遠く離れた福島で研修するようになったのもきっかけはインターネット。会員活動は、初めてパソコンに触れる方、かなり先端を進んでいる方と男女の別無く和気藹々と楽しく特に休憩時お茶の時間の話

来を予見して、仙台市の典にも豊齡という言葉はない。実は「豊齡の生み出した東北学院大学経済学部の森健一教授です。と、福島市のホームヘルパー三浦幸子さんが豊齡の親は東北学院大学経済学部の森健一教授です。が、発足、その時の会長が森教授だった。「メンバーが集まって話し合います。でも、正直言って役所の会議室ではアイデアが出ないんです。それに高齢化社会、老化社会という言葉はど

うもイメージが暗くてなじめない。何回目かの会議が終わったのは夜。疲れをいやすために数人のメンバーとお酒を飲んだ。らしいそれはそれは盛り盛り、それぞれの六〇年生きてきた道程は異なっても新鮮さが感じられる。六〇才代第二第三の人生リニューアル世代にとって自分のために使える多めの時間と、多くはないが程ほどのお金で自分の行動を起こす。ひとりり始めたこと、いつの間にか広がる。まさに「情報化社会を心地よく生きる」って、こういうことだと感じる。

パソコンは使用環境として高齢者にとっても最適なものの一つであると言える。IT機器に触れながら人と人の交流ネットワークを密にし、個々が持っている力を惜しみなく出し合いつ、時には地域に向き積極的に行動する。それは受身だけではない発信のある生活。これこそが、自立した生きがいのある生活を送るためのとっておきの戦略だと考える。

NPO法人豊齡研ITサロン会津への期待とその役割は大きい。豊齡社会を華に生きましょ。 シャル ウィー イー。 特別会員 新国 正明

心地よくなったアタマの中から突然、ぼつと浮かんできた言葉が「豊齡」だった。一年後に提言書を出す。その冒頭の見出しは『「豊齡化社会」をめざして』。

豊齡とは「老いは人生の下り坂ではない。常に上り坂なのです」。森教授の声は明るかった。特別会員 渡辺紀十見



副代表理事 国分 強

三年前、河東町海外派遣団の一員としてアメリカに行きある学校を見学した時、四、五歳児がペイントで絵かきをしている姿に会いました。小さな可愛い手で自由に伸び伸びとマウスを操作しているのを感じて見つけていた。あのときの驚きと感動を今でも忘れることができません。それからしばらくして知人の紹介で、「豊齡研あいつ」を知り発足時から加入させていたただき今日に至りました。



副代表理事 馬場 純

この間、ワード、インターネット、ハガキ作成、デジタルカメラ等ある程度の事はマスターしました。十年後は四人に一人が六十五歳以上になると予想されており、高齢化社会が進

アメリカでの感動 豊齡研の出会いがコンピュータに熱中する要素になつていっています。最後になりましたが、一つのものにのめりこんで自分なりに研究するこの意気込みがあればコンピュータは素晴らしい道具としてまた、友人となつてくれます。今まさに、コンピュータは、私の生活の一部であり今後息の長いおつきあいをしたいと考えております。

現在パソコンを楽しむ、生活に役立っていることは、Eメールとインターネットである。Eメールは、会員同士、植物(花)の写真を送ったり、最近では孫や親戚の人たちとの交流がはかれるようになって来た。インターネットは、健康情報の他に、旅行、スポーツ、首相官邸など、情報を生活に役立っている。今度、特定非営利活動法人(NPO法人)としての取組みが始まった以上、ボランティアの精神をもって互いに結びつきを深め、豊齡社会を生きていくために頑張りたい。

特定非営利活動法人豊齡研ITサロン会津 活動概要

加入資格 どなたでも (加入申込 理由書添付)
 (省庁住所電話番号生年月日趣味嗜好申込)
 年費 正会員 12,000円 年費納入後手数料
 賛助会員 1口 5,000円 年費納入後手数料

連絡先 長谷川友仁 代表理事 (住所) 福島県会津若松市柳原町1-2-34
 携帯電話 090-408-0857
 FAX番号 0242-38-2267
 住所 965-0857 会津若松市柳原町1-2-34
 (申込書宛先は別紙の方針を必ずご確認ください)

